

ケース⑨⑬

技術の種類：原位置浄化

【技術の概要】

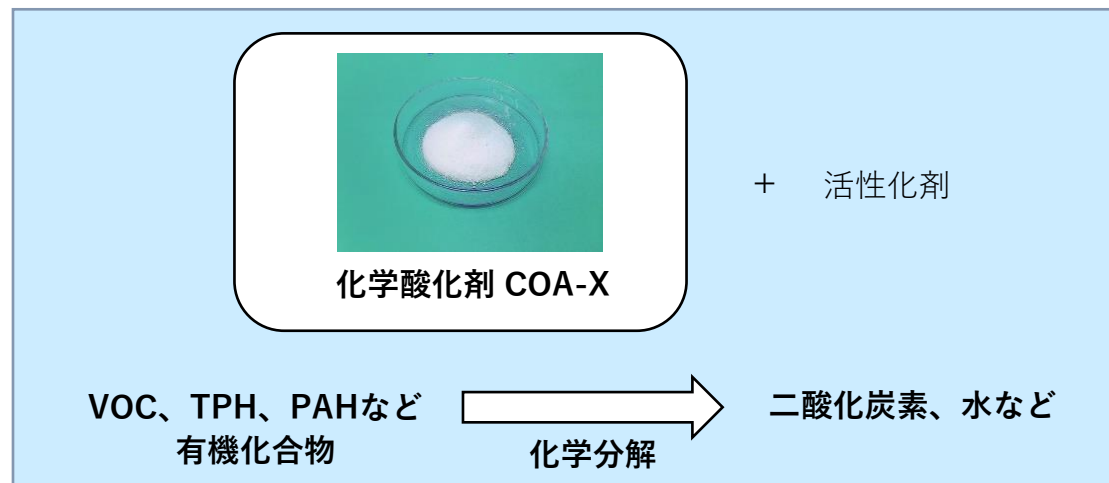
過硫酸塩ベースの化学酸化剤COA-Xを地盤に注入し、第一種特定有害物質（VOC類）を化学分解することで、土壌地下水から除去する方法です。
掘削除去に比べて低コストであり、分解スピードが速いため短工期、狭隘地でも適用しやすいコンパクトな方法です。
注入工法の採用により大型の重機を用いる必要がないため、軟弱地盤かつ狭隘地における汚染に対しても地盤変状の懸念なく対策工事が可能です。対象地の低透水性の地盤に対しては、深度別の加圧注入が可能なダブルパッカー注入法を採用します。

対象物質

第一種特定有害物質
四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,2-ジクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、ベンゼン

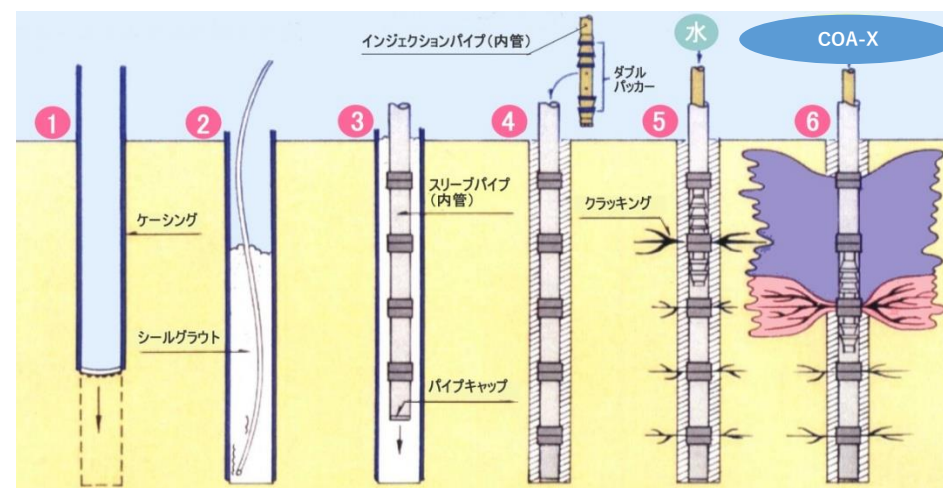
適用濃度

計 10mg/L未満 ※土壌溶出量、地下水



対象物質

石油系炭化水素（ベンゼン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、鉱物油、多環芳香族化合物）、有機塩素化合物（テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、ジクロロメタン、ジクロロエタン、クロロエチレン（塩化ビニル）、四塩化炭素、ジクロロベンゼン）、1,4-ジオキサン など



適する現場

- ・工期が短い
- ・透水性が良い
- ・シルト
- ・有機物が少ない
- ・塩素系VOC及びベンゼンの複合汚染
- ・不飽和層に汚染がある